

二、地方協議会は、固定的な、統制力を有する組織を持つ必要なきのみならず、それはむしろ弊害をすら豫想せられらる。

だが、密接なる関係を有する地方、例へば、兵庫、大阪、京都、奈良等による關西地方協議會、東京、神奈川、千葉、茨城、埼玉、等による關東地方協議會、或は東北、信越、北陸、等々の協議會が特に密接なる連絡を保つため、若しくは闘争力の交換を敏活に行ふ爲めに持たれることは何等妨げのある道理はない。だが現實の問題としては特に必要なる問題の起きた場合——例へば選挙、委員長の遊説日程の打合せ等々の如き場合——に適時會合が持たれることを以て足りるのではない。

### (3) 班

班の組織を確立することは、労働者が、労働者農民の強固なる戰團的聯盟としての組織を完成し、その階級的任務を有力に遂行するために絶対に必要である。従来我々は、工場へ農村へ！といふスローガンを叫んで来たが、その意味は、單に工場農村の中から黨員を獲得せよといふだけの意味ではなくて、黨の組織的基礎を労働者農民大衆の中へ確立せよ、といふ意味である。黨の班が自らの周圍に組合の支部乃至は分會を持つてゐるといふ状態に於て確立されてこそ、黨が工

場農村へ強固なる基礎を持つたと言ひ得るのである。

#### 一、班の組織

(イ) 班の種類を工場班、農村班、街頭班の三種とする。(但し名稱をそのまま付ける必要はない。例へば××農村班とせずして、××地區班とし、○○街頭班と呼ばずして○○地區班と呼んでも差支なし)

(ロ) ある工場に黨員數がある場合には必ずそこに工場班を組織して、その工場の存在する地域の支部に所属せしめる。統制、活動、黨費等すべてその支部に属す。

(ハ) 農村班は事實上地區によつて組織せらるべきであるたが同一地區に多數の黨員ある場合に、その地區として一班を組織するに止まらず地主別班もしくは分會が組織されることを活動上便宜とする場合が想像せられるのみである。かくして農村班は地域によつて組織せられる點に於て街頭班と類似してはゐるが、その性質は全然異り、むしろ工場班に類するものである。

(ニ) 街頭班は主として市街地に組織せられるもので、借家人、小賣商人、家内職人、俸給生活者等によつて地域的に組織せられる。

(ホ) 工場労働者の勤務工場とその住所とが支部地域を異にする場合——例へば工場は市内芝区に在り住所は市外荏原に在る場合——その黨員の支部或は班所屬關係は如何になす

べきか？

その労働者黨員は必ず、その勤務工場の工場班に属し、芝區支部に属すべきであることは前示の通りである。而して荏原支部との關係に於ては、彼は絶対に荏原支部に属せず、その地域班(街頭班)に属しない。

この原則は絶対に守られねばならぬ。何となれば、労働者は工場に於てこそ百パーセントの労働者としての闘争能率を擧げ得るのであつて、こゝに彼の全力が傾倒せられなければならぬ。もし彼が住所地の班に組織せられるとしても、そこでは既に労働者たるの機能を充分に發揮する事能はず、いはば一の街頭分子たる機能しか發揮し得ない。その爲めに最も重大な工場に於ける活動力を分散せしむることは全闘争から見て絶対に不利である。

然しながら、彼は住所地たる關係上荏原地方の闘争に全く無關心ではあり得ない。又無關心であつてはならぬ。彼は近所に住む労働者とも交際を持つてゐるであらう。荏原地方の闘争を正しく階級的に導く能力を持つてゐるであらう。これ等は充分に荏原地方に於ても發揮、利用、活用せられなくてはならぬ。

即ち彼は芝區支部に所屬するとは雖も必ず、自分の住所を荏原支部に通知し、荏原支部からの要求に應じて又は自發的に充分に荏原地方の活動——工場の組織、街頭班の組織促進

工場對策の方針決定、選挙戦等——に参加しなくてはならぬ。荏原支部の側から云つたならば、自分の支部所屬員ではないが、自分の支部地域に居住せる労働者黨員の所在を明確に知つて居り必要に應じて充分に彼等を利用してねばならぬ。だが吳々も彼の活動の本舞臺は芝區支部であり、そこでの活動を犠牲にする事は絶対に避けられねばならぬ。

(ヘ) 班は必ず班委員會を持たねばならぬ。班委員會は、班員の活動を指導し、黨の指令達示等々によつて示された黨の方針を敏速に全班員に徹底せしめ、全班員を黨の闘争に動員することは無論のこと、各班員をして、常に確信を持つて大衆の中に活動し得るやうにすることに努力しなければならぬ。そして、そのためには、機關紙の配布、指令、達示、等々の敏速なる報導、研究会、座談會による班員の教育、等々の任務が精力的に行はれなければならない。

#### 二、班の任務

黨は班を通して黨外の尤大なる大衆に接觸する。したがつて、班の強力なる活動なくしては、黨が全被壓迫大衆を黨の影響下に置き、彼等を政治闘争に奮起せしめることは不可能である。班は、黨の運動方針、指令、達示、等に基いて、不斷に大衆の中に——工場に農村に街頭に——活動し、大衆の中へ黨の綱領政策スローガンを持ち込み、大衆の日常利益の擁護伸張のためには、常に大衆の先頭に立つて戦はねばなら